

| 項目  | 確認事項  | 届出内容  |
|---|---|---|
| 基本情報  | 大学等名1(代表大学等)  | 東洋大学  |
|   | 大学等名1(代表大学等)※カナ   | トウヨウダイガク  |
|   | 大学等名1(代表大学等)学校所在地   | 東京都   |
|   | 大学等名1(代表大学等)学校種別  | 私立大学  |
|   | 大学等名2(連携大学等)  |   |
|   | 大学等名2(連携大学等)学校所在地   |   |
|   | 大学等名2(連携大学等)学校種別  |   |
|   | 科目名   | 短期海外実習1～4   |
|   | 学部・研究科等名  | 国際教育センター  |
|   | 担当教職員名・役職   | 小早川 裕子 准教授  |
|   | 受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数  | 0   |
|   | 受入企業等数  | 0   |
| 受入企業等名  | 国際教育センターで提供するプログラムは以下参照。<br>http://www.toyo.ac.jp/international-exchange/ies/internship/また、学生が個人で申し込むインターンシップも対象にしている。              |   |
| インターンシップの分類                                       | 3.海外インターンシップ  |   |
| 上記以外のインターンシップの分類(記述欄)                             |   |   |
| 要素①   | 1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。  | 1.はい  |
|   | 1-2.該当する就業体験  | 1.企業等における業務への従事<br>2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)  |
|   | 1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)   |   |
|   | 1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)   | 参加するプログラムにより異なる。  |
| 要素②   | 2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。                                | 1.はい  |
|   | 2-2.該当するインターンシップの内容   | 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している<br>8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している               |
|   | 2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)  |   |
|   | 2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)  | 1～4年次   |
|   | 2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)  | 1単位   |
| 2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)                             | 国際教育センターで提供する海外インターンシップはもとより、学生個人で申し込む海外でのインターンシップを単位取得の対象として設定している。当該科目の履修を希望する学生のみ、追加の事前事後研修等を実施し、単位を付与している。                      |   |
| 要素③   | 3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。 | 1.はい  |
|   | 3-2-1.該当する事前学習の内容   | 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している                    |
|   | 3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)  |   |
|   | 3-2-2.該当する事後学習の内容   | 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている   |
|   | 3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)  |   |
|   | 3-2-3.該当するモニタリング  |   |
|   | 3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)  |   |
|   | 3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)  | Intercultural Development Inventory (IDI)と呼ばれる異文化適応調査を海外渡航前に回答してもらっている。 |
| 3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)                          | 帰国後にもIDIを回答してもらい、異文化適応度の推移を観察できる機会を提供している。  |   |
| 3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)                        |   |   |
| 要素④   | 4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。   | 1.はい  |
|   | 4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み   | 1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている               |
|   | 4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)  |   |
|   | 4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)   | インターンシップ参加前後にIDIを回答してもらい、異文化適応度の変化を学生へ客観的に示している。                        |
| 5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。 | 1.はい  |   |

|        |  |   |
|--------|--|---|
| 要素⑤    | 5-2.該当する実施期間   | 1.連続した5日間以上の実施期間を確保している   |
|        | 5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)   | プログラムにより異なる   |
|        | 5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)                                 |   |
|        | 5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)                                  |   |
|        | 5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)   |   |
|        | 5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)  | 国際教育センターでは複数の海外インターンシッププログラムを用意しており、それぞれのプログラムで独自の実習先を確保している。                         |
| 要素⑥    | 6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。 | 1.はい  |
|        | 6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容   | 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている<br>4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している |
|        | 6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)                                  |   |
|        | 6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)  | 受け入れ先によって異なるが、受け入れ先が積極的に学生の評価に関与し、一定の基準を満たした学生には修了証を発行する場合もある。                        |
|        | 7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL         | <a href="https://g-sys.toyo.ac.jp/syllabus/">https://g-sys.toyo.ac.jp/syllabus/</a>   |
| 問い合わせ先 | 大学等名   | 東洋大学  |
|        | 担当部署名  | 国際部国際課  |
|        | 担当者役職名   |   |
|        | 担当者氏名  | 堀 亮輔  |
|        | 電話番号   | 03-3945-8549  |
|        | メールアドレス  | ml-sgu-sogo@toyo.jp   |